

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-1		事業名	障がい児(者)に対する専門的な療育支援体制の拡充
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課就労・相談支援担当係 木村、小野寺 TEL 211-2936			
全 体 計 画				
事業内容	重症心身障がい児(者)、知的障がい児(者)、身体障がい児等の地域生活を支えるため、発達援助や医療的ケア等に関する、専門的な視点からの療育指導等を行うとともに、関係機関(福祉サービス事業者、福祉施設、教育機関等)に対して技術指導を行い、身近な地域での療育支援体制の構築を図る事業である。療育支援に関する専門的な知識と経験のある相談支援事業所に委託し実施している。 ※事業費については、計画期間中の新事業所数に係る事業費のみ計画に計上する。(レベルアップ事業)		＜年度別の事業内容＞	
			障がい児等療育支援事業実施箇所を増やす 19年度 6カ所(1増)※うちレベルアップ分1カ所 20年度 7カ所(1増)※うちレベルアップ分2カ所 21年度 7カ所※うちレベルアップ分2カ所 22年度 8カ所※うちレベルアップ分3カ所 ※ 本事業の主旨は、障がいのある方を「身近な地域」で支えることであるため、増設に当たっては、障がい福祉圏域(市内4圏域)におけるバランスのよい配置を行っていく。	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	平成19年10月に、1カ所を増設した。 ※ 中央区・西区・手稲区圏域—2カ所 北区・東区圏域—2カ所(うちレベルアップ分1カ所) 白石区・厚別区圏域—1カ所 豊平区・清田区・南区圏域—1カ所 事業費28,867千円※うちレベルアップ分2,645千円		平成20年10月に白石区・厚別区圏域で1カ所を増設した。※レベルアップ分2カ所 事業費32,379千円※うちレベルアップ分7,427千円	
事業規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	より身近な地域できめ細かな療育支援が受けられるようすべての相談支援事業所で実施した(14カ所)。平成21年10月に相談支援事業所を1カ所増としたことから15カ所を実施した。 事業費33,264千円※うちレベルアップ分1,650千円		地域の細かな療育指導に対応できるよう委託費の支払い方法を細分化した。実施事業所は昨年度実績のあった6カ所と、平成22年10月に相談支援事業所を1カ所増としている予定から7カ所を実施を予定している。 事業費5,168千円※うちレベルアップ分863千円	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-1			事業名	障がい児(者)に対する専門的な療育支援体制の拡充		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
障がい児等療育支援事業実施箇所数(累計)		5カ所	6カ所	7カ所	15カ所	7カ所	8カ所
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 「地域自立支援協議会」において、学識経験者や地域の障がい福祉の状況を熟知している相談支援事業所職員などにより、本事業を含めた相談支援の充実に向けた協議を行っている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]相談支援に関する優れた人材や技術を本事業に活かしていくことが期待できる。 [情報協力]福祉関係団体が持つ情報誌などを活用した情報発信により、地域などでの障がいに対する理解が期待できる。 [その他の協力]福祉関係団体が持つネットワークなどを活かした事業展開が期待できる。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本事業を含め相談支援の充実に向けて協議をしている「地域自立支援協議会」を公開で行い、傍聴者の意見を本事業等に反映させるよう努めている。</p>							
評価(成果)				課題			
障がいのある方やその家族の地域生活に貢献している事業であり、多くの市民から期待されている事業である。 事業の主旨である「身近な地域」での支援を行うため、すべての相談支援事業所で実施することとした。				相談支援事業所により得意分野に差があることから、実績の高い相談支援事業所に委託を絞り込み、よりよい支援が受けられるように、連絡会議等の機会を活用して情報交換を行うとともに、事業所間のネットワークの構築を図り、より効率的な支援を行っていく必要がある。			
今後の事業の予定・方向							
当該事業における問題点や効果的な支援方法を連絡会議で情報交換するなど、より効率的な支援を図る必要がある。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-2-1			事業名	障がい児(者)に対する専門的な療育支援体制の拡充					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	2,492		9,966		9,966		14,576		37,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
一般財源	2,492		9,966		9,966		14,576		37,000		
予算	事業費	2,492		8,487		9,504		863		21,346	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
一般財源	2,492		8,487		9,504		863		21,346		
実績	事業費	2,645		7,427		1,650		-		11,722	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0				0
		市の債	0		0		0				0
		その他の	0		0		0				0
一般財源	2,645		7,427		1,650				11,722		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)								34.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》											
[19年度]											
[20年度] 予算措置等の関係で、20年度については10月からの増となった。											
[21年度] 予算措置等の関係で、21年度についても10月からの増となった。											
[22年度] 予算措置等の関係で、22年度についても10月からの増を予定している。											